

FirstGlobal メッセージ

siesta

2017.5月号 vol.168

発行元：〒540-0012

大阪府中央区谷町1-6-4

天満橋八千代ビル10階

(株)ファーストグローバルコンサルティング

代表取締役

戦略人事コンサルタント 品川典久

TEL 06-6910-3007 FAX 06-6910-3008

Email shinagawa@1gc.jp

URL <http://www.1gc.jp>

今月のトピックス

日本の工芸を元気にする

今回は「日本の工芸を元気にする（中川政七、東洋経済新報社）」という書籍のご紹介です。中川政七商店といいまして、奈良県の創業300年の老舗会社なんですが、実は小生が以前お世話になっていた銀行の奈良支店時代に社屋の近くをよく通っていました。正式な取引はなく、まさに決め付けで大変失礼ですが、社名からして古くからの会社で、新規で取引してくれる余地もないだろうと一度も飛び込んだこともありませんでした。それはもうかれこれ、20年前のことです。現在はメディアにも取り上げられ、著者である現社長の十三代中川政七（中川淳）氏が富士通を退職後、2002年に家業を引継ぎ、現代的マネジメントとブランディングで伝統産業を蘇らせ、業界初のSPA（製造小売業）モデルを構築し、「遊中川」「中川政七商店」「日本市」など、工芸品を雑貨の自社ブランドを確立し、全国に約50の直営店を展開しています。また、自社で培ったノウハウを生かし、工芸分野の他社の経営コンサルティング事業を行い、日本各地の企業・ブランドの経営再建に貢献されています。こういうことがあるからお付き合いは大事にしておかないといけませんね。それはさておき、中川さんが会社に入ってから、今日に至るまでの出来事を詳細に記述されていますが、ここでは特に人事に絞ってご紹介します。店長を務める、あるアルバイトのスタッフの「社長の考えていることがわからない」という一言が重く響いたとのこと。「考えていることなんかわからなくても、全部指示を出しているから、やることはわかるでしょう」と言うのと「考えていることがわかったら、私たちが判断できることもあるし、もっとうまくやれるのに」と返されたそうです。それからビジョンと価値観をわかりやすい言葉で共有しなければならぬと考え、アルバイトだった店長を全員社員化（逆にそれもビックリですが）、給与体系の見直し、仕事における判断基準を示した「こころば」、業務の判断基準を示した「しごとのものさし」を作って、共有したそうです。文字に落とす大切さを痛感します。詳しくは本書で。

< next >

森友問題はどうか着地するんでしょうね？いろいろな意味で犠牲者が出なければいいのですが。こんな時、名探偵コナンが出てきて「真実はひと〜つ」と言って解決してほしいものです。